

働くカタチ

昭和39年から営業している(有)中島石油。その3代目となる敏之さんは、5年前父親を亡くし、会社を急に継ぐことになりました。

「高校を卒業してからここで働いていましたが、経営のことは何も教わっていませんでした。後継者は、教えられて継ぐというのが普通でしょうけど、それができなかったの、自分で勉強するしかありませんでした。今自分がやっている経営が正しいかどうかはわかりませんが、少しずつ身につけてきました」

7時15分から夜の8時までの営業で、休業日は第1、第3日曜日とお正月の三日のみ。月

中島 敏之さん

これで食べているのでおろそかにはできない。

に休みは2日しかありません。「旅行にもいけないですが、自営業で、これで食べているのでおろそかにはできません。脱石油、オール電化と言われる時代。昔ながらの経営も大切だけど、時代の流れに合った経営をしないとダメになりました。自分なりにアレンジした経営をして、入りやすいスタンドにしたいですね」



経営について、敏之さんは商工会青年部の存在の大きさも話してくれました。

「経営者向けのセミナーで経営学を学んだり、東中南予の青年部で情報交換をしたりして、自



●Profile
なかじま としゆき
筒井在住の29歳。平成16年4月より石油類小売業「(有)中島石油」の取締役就任。

分の立場や未熟さを実感しながら勉強しています。何より大きな支えは町内の同じような若手経営者の存在ですね。みんな親身になってくれるので本当にありがたいです。これからは町内のいろいろな事業者が、つぶし合うのではなく、ここをこうしようとか意見を交わし、協力し合って町を元気にしたいですね」

ずっとこの温かい松前町で頑張りたい。

原田 和之さん

美容学校を卒業後、床屋で6年間の修行を経て、平成12年8月、西高柳にご自身の店をオープンした原田さん。26歳の時でした。

「同級生の中では、自分の店を構えるのは僕が一番最初でした。みんななんで早く独立しないのだろうと思っていたぐらいです」



そう話す原田さんですが、出店するのにはたくさん苦労があったそうです。

「家が床屋だったわけでもなく、改装や移転でもなく、新規なので大変でした。まずは土地を探

すところから始めて。やっぱり地元でやりたいという思いがあったので、松前で探しました。散髪屋って、初めてのところは入りにくいですよ。だからオープンしたばかりのころは苦労しました。そのうち自然とお客さんが入るようになって、地元の常連客も増えてきました」

最後に今後の抱負を伺いました。「笑顔で明るく、ていねいにモットーに、立ち寄りやすい店にしていきたいです。定年がないです。これから生涯現役で、将来は子どもと一緒にアットホームな店にしたいですね」

「松前の人は皆さんいい人で、せっかちな人がいないんですよ。『終わったところにまたこようわい』といってまた来てくれます。ずっとこの温かい松前町で頑張りたいと思います」と答えてくれました。



●Profile
はらだ かずゆき
筒井出身、現在松山市在住の34歳。平成12年8月、理容業「hair DU MODE Pure.」を開業。